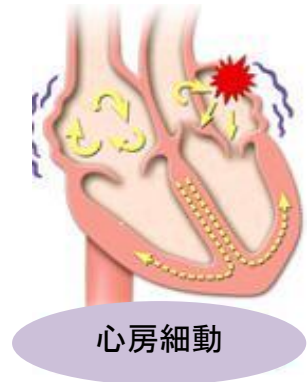


心房細動と診断された方へ

心房細動とは・・・??

心臓の「心房」と呼ばれる部分がブルブルと
けいれんしたように不規則に震え、心臓本来の
拡張と収縮ができなくなった状態のことです。



症状

労作時や運動時に疲れやすい

息切れしやすい

めまい

胸痛

動悸



合併症：脳梗塞、心不全

心房細動の治療

カテーテルアブレーション

不整脈を起こす部分を電気で焼きます。

薬物治療

心房細動に対する治療

血栓症を予防する治療



50~60°C
の温度で焼きます



薬による治療 ～心房細動に対する治療～



脈を整える薬

アミオダロン



まれに副作用として間質性肺炎が現れることがあります。咳、息切れ、発熱などの症状が現れたらすぐにお知らせください。

また、不整脈を起こすことがあり、動悸やめまい、ふらつきに気を付けてください。

ピルシカイニド塩酸塩、タンボコール



不整脈を起こすことがあり、動悸やめまい、ふらつきに気を付けてください。

心拍数を調節する薬

ベラパミル塩酸塩、ハーフジゴキシン、カルベジロール、ビソプロロールフマル酸塩



心拍数を整え、脈が速くなりすぎないようにすることで心不全を防ぐお薬です。



心房細動



心不全

脈拍数：安静時は60～80/分、

中等度運動時は90～115/分が目安です。



グレープフルーツに含まれるフルクマリンという成分がワソランや一部の血圧の薬の効果を高めてしまうことがあります。服用中は食べないようにしてください。

苦味渋味のある柑橘系類が相互作用を起こしやすいと言われています。

食べてもいいもの：みかん、オレンジ、レモンなど

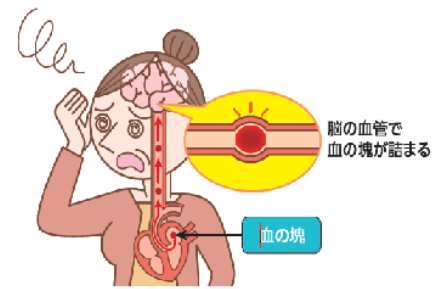
だめなもの：グレープフルーツ、甘夏、はっさくなど



血栓症について

全身から心臓に戻ってきた血液は、右心房→右心室→肺→左心房→左心室を通過して全身に送られます。

心房細動になると血液の流れが悪くなり左心房から血液が出にくくなってしまいます。



すると、心臓から出にくくなった血液が固まり(血栓)になります。

血栓が脳に流れた場合、脳の血管を塞ぎ脳梗塞を起こします。

心房細動患者の約5%が脳梗塞を発症するという報告があります。しっかり予防することが大切です。

薬による治療 ～血栓症予防薬～

血をサラサラにする薬

	ワーファリン	プラザキサ	イグザレルト	エリキュース	リクシアナ
					
食事との飲み合わせ	納豆、青汁、クワジタソク含有サプリメント →薬の効果が下がってしまいます	なし			
服用回数	1日1回	1日2回	1日1回	1日2回	1日1回
弁膜症への適応	あり	なし			
注意すべき副作用	悪心、嘔吐、血尿、血便、頻回の鼻血などの症状がある場合や手術・出血を伴う治療を受ける際は、必ず医師、医療スタッフに申し出てください。場合によっては休薬をすることがあります。 ◎プラザキサ服用中は、吐き気、下痢、腹痛などが出る場合があります。多めの水(コップ1杯)で飲むことで症状が出にくくなります。				

上記4つは同じ作用の薬ですが、患者様の症状や状態に合わせた薬が処方されます。



自己判断で服用をやめること
服用量・回数を減らすことは絶対にしないでください！！

心房細動を悪化させるもの

・高血圧

食塩は1日6～7gまでに控えましょう。

血圧125/75mmHg未滿を目標にしましょう。



・糖尿病

ヘモグロビンA1c (HbA1c) 7.0%未滿を目標にしましょう。

・肥満

適度な運動習慣を身につけましょう。

1日30分程度、週に3、4回行うようにしましょう。

動悸、息切れがある時は無理をしないようにしてください。



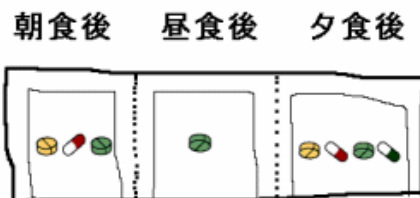
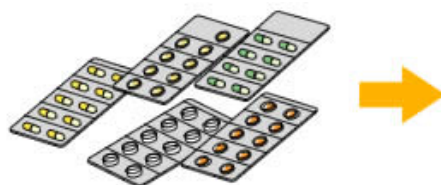
・飲酒

1日ビールは350ml (缶1本)、日本酒は180ml (1合)まで。

薬の飲み方の工夫

薬をきちんと飲むために**お薬ケース**を利用したり、

薬局で**一包化**を依頼したりしましょう。



薬をきちんと飲むことで、**脳梗塞**や**症状の悪化**を防ぐことができます。

調子が良くても、きちんと薬を飲みましょう!!

薬を飲みにくい、忘れてしまうなど困ったことがありましたら**医師、薬剤師**にご相談ください。

